

Active!mail の新機能について

学術情報部情報政策課 小林 大輔

本学の情報システムは、平成 31 年 3 月 1 日から新しいシステムに更新された。ここでは、Web メール（Active!mail）について紹介する。

キーワード：情報システム、二段階認証、Web メール、迷惑メール、標的型メール

1. はじめに

Active!mail は、インターネット環境があれば端末種別や言語を問わずに利用可能な Web メールである。本稿では、新情報システムで更新された Active!mail の新機能について紹介する。

2. 二段階認証

昨今多発している情報危機事案対策として、本学では Active!mail に二段階認証を設けて、情報セキュリティの強化に努めている。



図 1 二段階認証（一段階目）

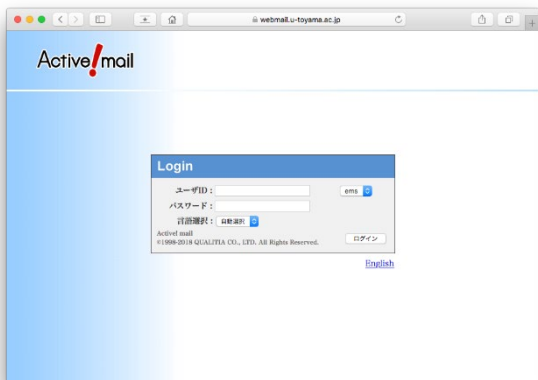


図 2 二段階認証（二段階目）

3. メール送付経路の可視化（国旗表示）機能

Active!mail へログインし、受信メールを選択すると、上部欄に「経路情報」という項目が追加されている。メールのヘッダ情報（メールの詳細情報）を読み取り、メールを受信するまでに経路したサーバ（国）を解析して、経路を可視化（国旗表示）することで、ユーザが正規メールか否かの判断を容易にする機能である。



図 3 国旗表示機能（正規メール）

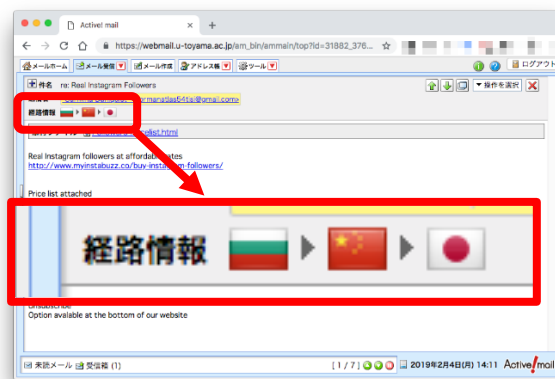


図 4 国旗表示機能（迷惑メール）

4. 添付ファイルのプレビュー機能

標的型メール等のサイバー攻撃に対応するため、添付ファイルの処理が大きく変更された。添付ファイルがある場合は、一度、プレビューしてから、PC へダウンロードするという手順になる。プレビューの段階では、サーバ上でファイルを展開する（サンドボックス的な動作）ため、PC には影響がない。ユーザは添付ファイルの中身を目視確認してから PC へ取り込むことが可能になる。



図5 プレビュー機能の概要

5. 諸注意

国旗表示機能は、あくまで参考情報であり、過信せずに利用していただきたい。

プレビュー機能は、全ての添付ファイルに対応しているわけではない。また、「プレビューだから開いても大丈夫」といった油断が新たな情報危機事案を生むことにも成りかねない。

有用な新機能ではあるが、過信や油断をせずに、適切な利用を心がけていただきたい。

6. 考察

Active!mail に追加された2つの機能は、情報危機事案への瀬戸際対策としては、ユーザにとって非常に有用なものとする。しかし、これらの機能はあくまでユーザがどれだけ意識的に利用（活用）するか否かにかかっている。情報セキュリティの肝は、結局は人なのである。